Webex Calling 専用 インスタンスサービスとしてのインフラストラクチャ

サービス エンドユーザーガイド

バージョン 1.0

© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All

コンテンツ

紹介 3

前提条件 3

OS ベースの仮想マシンを展開する 3

テンプレートベースの仮想マシンを展開する 7

ユーザーの管理方法 10

仮想マシンの管理方法 14

IaaS アプリケーション サービス カタログ 14

© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All

紹介

このドキュメントには、エンドユーザー向けの Webex® Calling Dedicated Instance Infrastructure as a Service (IaaS) サービスに関する手順を追った操作ガイドが記載されています。顧客とパートナーは、仮想マシン（VM）を展開して管理するために、オンライン ポータルを介して IaaS サービスを操作する方法を理解するのに役立ちます。

対象者:専用インスタンス IaaS サービスを購入する顧客とパートナー

範囲:このガイドでは、次の IaaS 操作の詳細について説明します。

- OS ベースの仮想マシンを展開する
- テンプレートベースの仮想マシンを展開する
- ユーザー管理
- 展開された仮想マシンを管理する

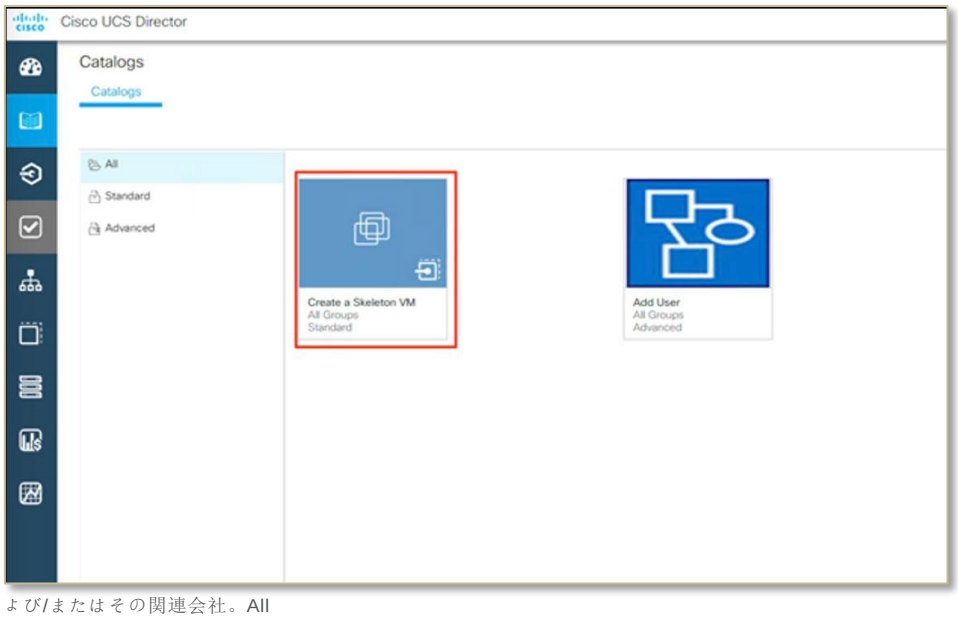
前提条件

エンドユーザが IaaS ポータルの使用を開始する前に、次の前提条件が必要です。

- パートナー/顧客には既存の専用インスタンス インスタンスがあります。
- パートナー/顧客は、IaaS ポータルにアクセスするために使用される Cisco® が提供する IP アドレスを解決する DNS A レコード (iaasportal.ucmc.cisco.com) を追加しました。
- パートナー/顧客は、専用インスタンス IaaS インスタンス/ポッドに完全にオンボードされています。その結果、エンドユーザは Web ブラウザ経由で指定されたポータル アドレスに ping して、アクセスできます。

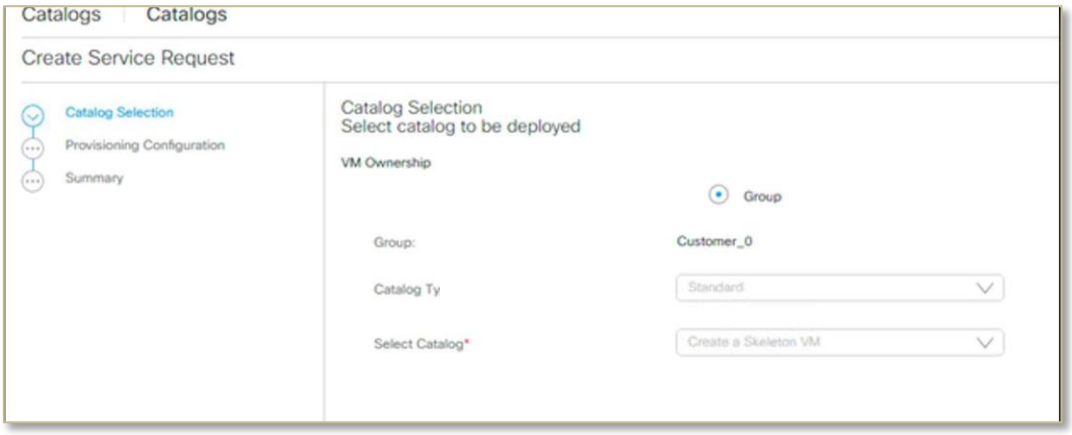
OS ベースの仮想マシンを展開する

1. サイド メニューの [カタログ] をクリックし、[スケルトン 仮想マシンの作成] をダブルクリックします。



© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All

2. カタログ選択ページで [次へ] をクリックします。

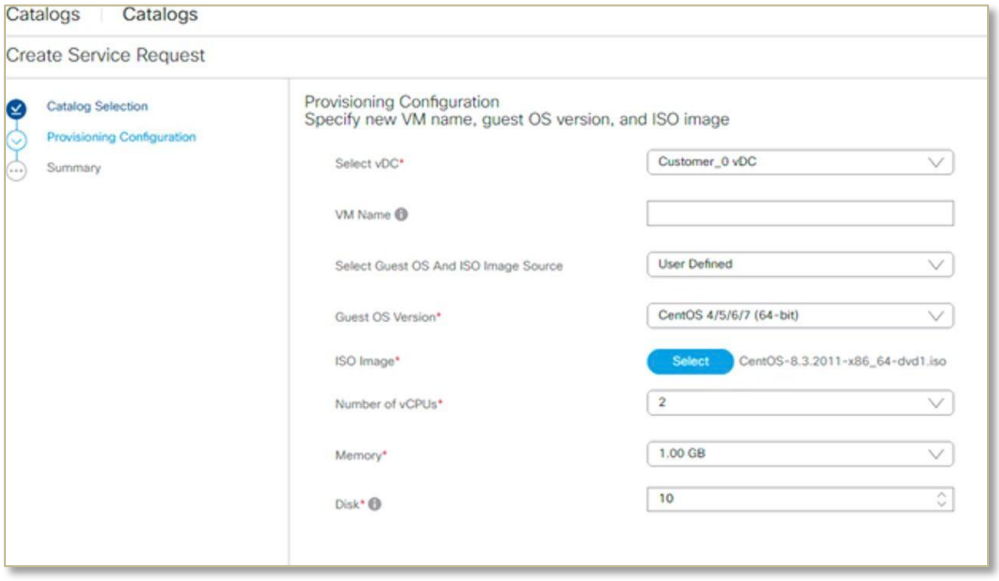


3. プロビジョニング設定のための次の情報を指定します。

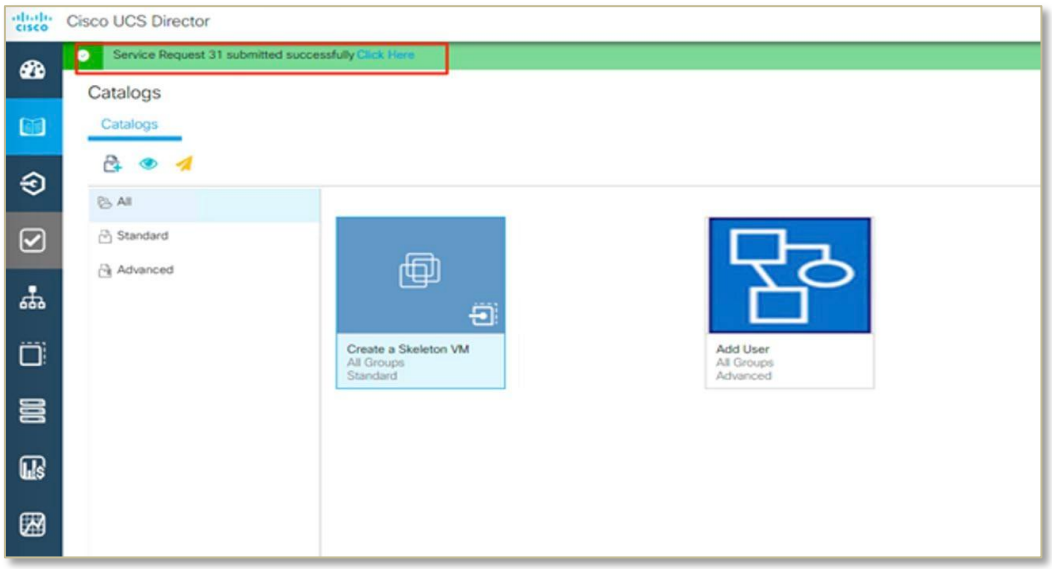
表1。 VM 入力フィールド

アイテム	説明
VM 名	• <customer-name>-<application name> の形式の一意の VM 名。 • 指定しない場合、システムは「vm-<customer- group-name>-SR<Service-request-number>」の形式で名前を自動生成します。
ゲスト OS および ISO 画像ソースを選択	• エンドユーザは、「ISO イメージマッピング」または「ユーザ定義」のいずれかを選択できます。 • ほとんどの ISO は、シスコが画像とオペレーティング システムを事前にマッピングした ISO イメージマッピング オプションにあります。[ISO マッピング（ISO mapping）] オプションで希望の OS が見つからない場合、ユーザは [ユーザ定義（USER DEFINE）] を選択して、OS バージョンをリポジトリで使用可能な ISO に手動でマップできます。
ゲスト OS バージョン	• このフィールドは、前のフィールドで「ユーザー定義」が選択されている場合にのみ表示されます。ユーザは、定義済みの OS リストで OS タイプとバージョンを選択できます。
ISO イメージ	• [選択] をクリックして、ファイルブラウザを表示し、ユーザーがリポジトリで利用可能なデザイン ISO 画像を選択できるようにします。
vCPU の数	• この VM に希望の vCPU 数を選択するためのプルダウン リスト。
メモリ	• この VM のメモリに必要なサイズを選択するためのプルダウン リスト。
ディスク	• ディスク サイズを定義するユーザ。入力番号は、顧客層で定義されたポリシーに基づいています。情報アイコンの上にカーソルを合わせて、有効な入力値を確認してください。

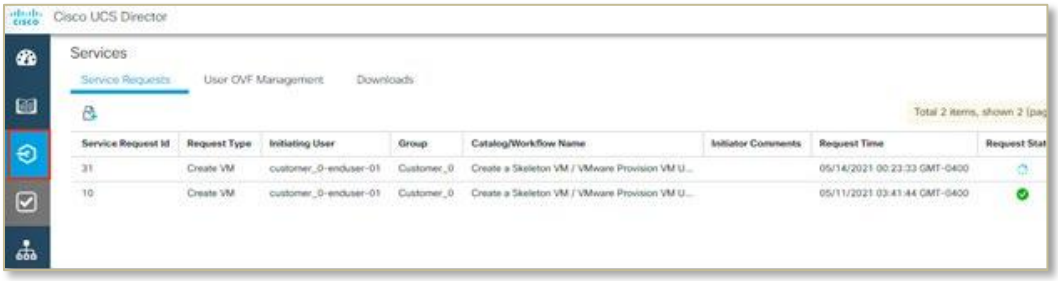
© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All



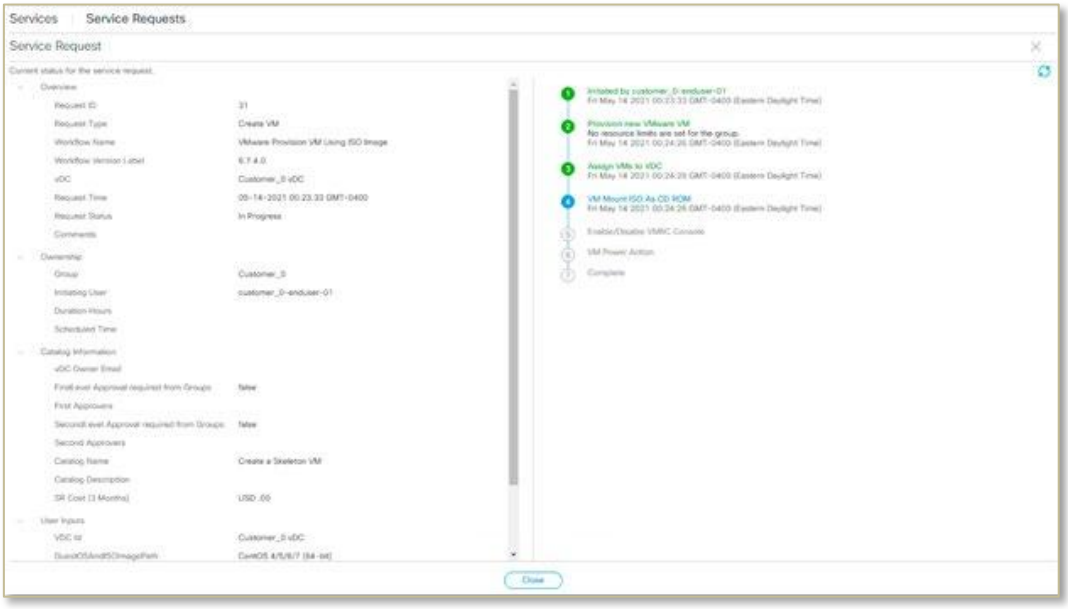
4. リクエストを送信すると、ページは通知とともにカタログページにリダイレクトされます。サービスリクエストの詳細にアクセスするには、通知の [ここをクリック] をクリックするか、[サービス] (サイドバーから) > [サービスリクエスト] に移動し、希望するサービスリクエストをダブルクリックします。



© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All

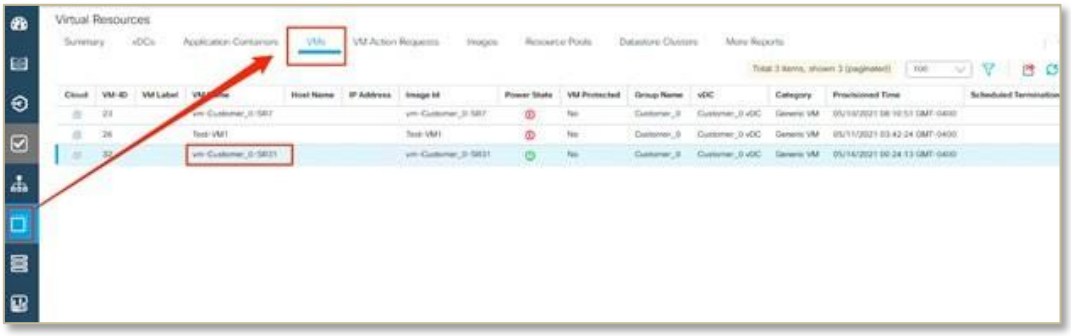


5. [サービスリクエスト（Service Request）] ページには、サービス要求の実行ステータスが表示されます。[更新] ボタンをクリックして、ワークフロー ステータスを更新します。



6. サービスリクエストが完了したら、[仮想リソース(サイドバー)] > [VM(タブ)] に移動して、VM コンソール (VMRC コンソール) へのアクセスを含む追加のユーザーアクションのために作成された仮想マシンを見つけます。

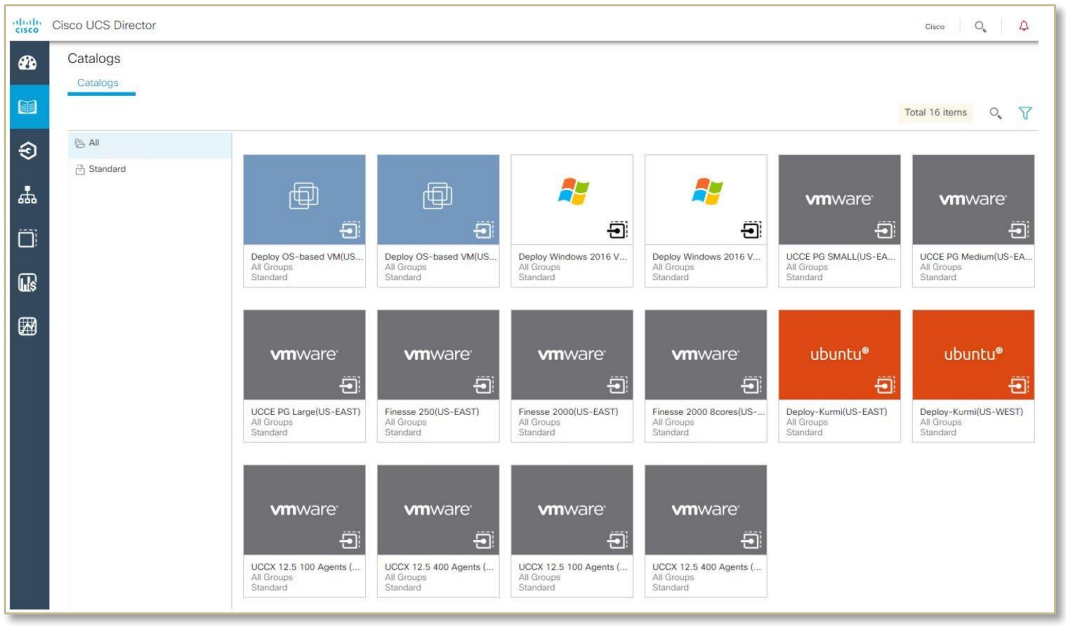
© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All



テンプレートベースの仮想マシンを展開する

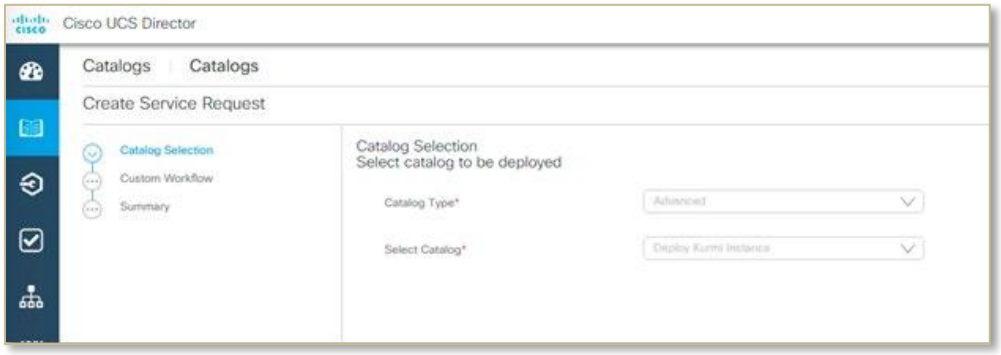
以下は、パートナーが利用可能なカタログ内のテンプレートからアプリケーションを展開する方法の説明です。このセクションでは、Kurmiをプロセスの手順の例として使用します。

1. カタログから、「UCCX または Finesse」をダブルクリックします。

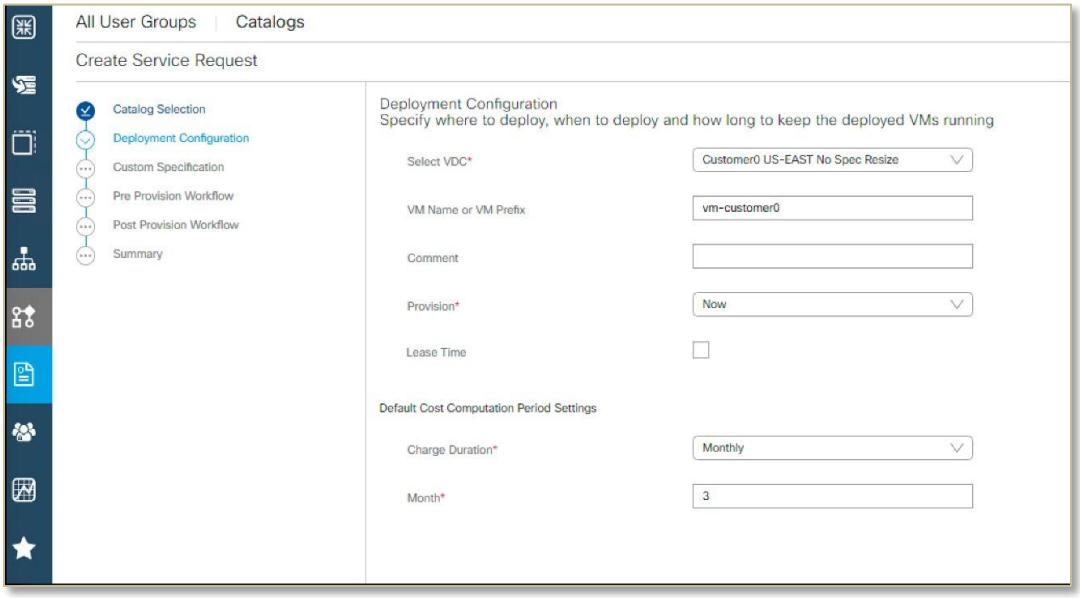


2. カタログ選択ページで [次へ] をクリックします。

© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All

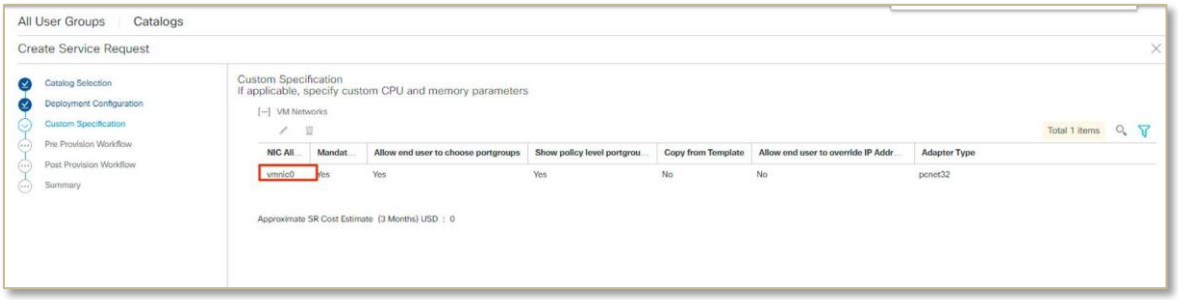


3. 必要な vDC を選択し、[VM 名または VM プレフィックス（VM Name or VM Prefix）] フィールドに一意の VM 名を入力します。コスト計算期間の設定は、専用インスタンス IaaS サービスとは無関係であり、これらの設定をデフォルト値のままにしてください。

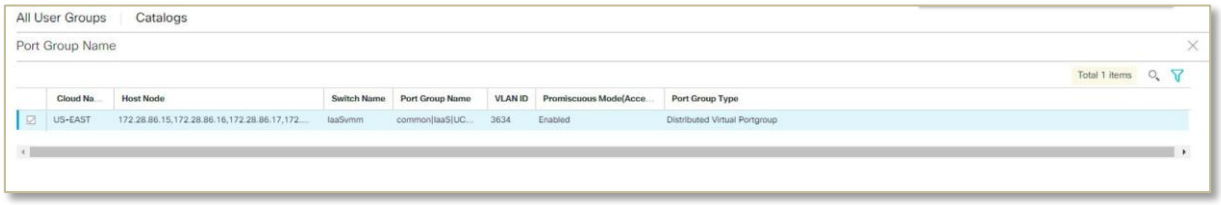


4. VM ネットワークを拡張し、「vmnic0」をダブルクリックします。

© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All



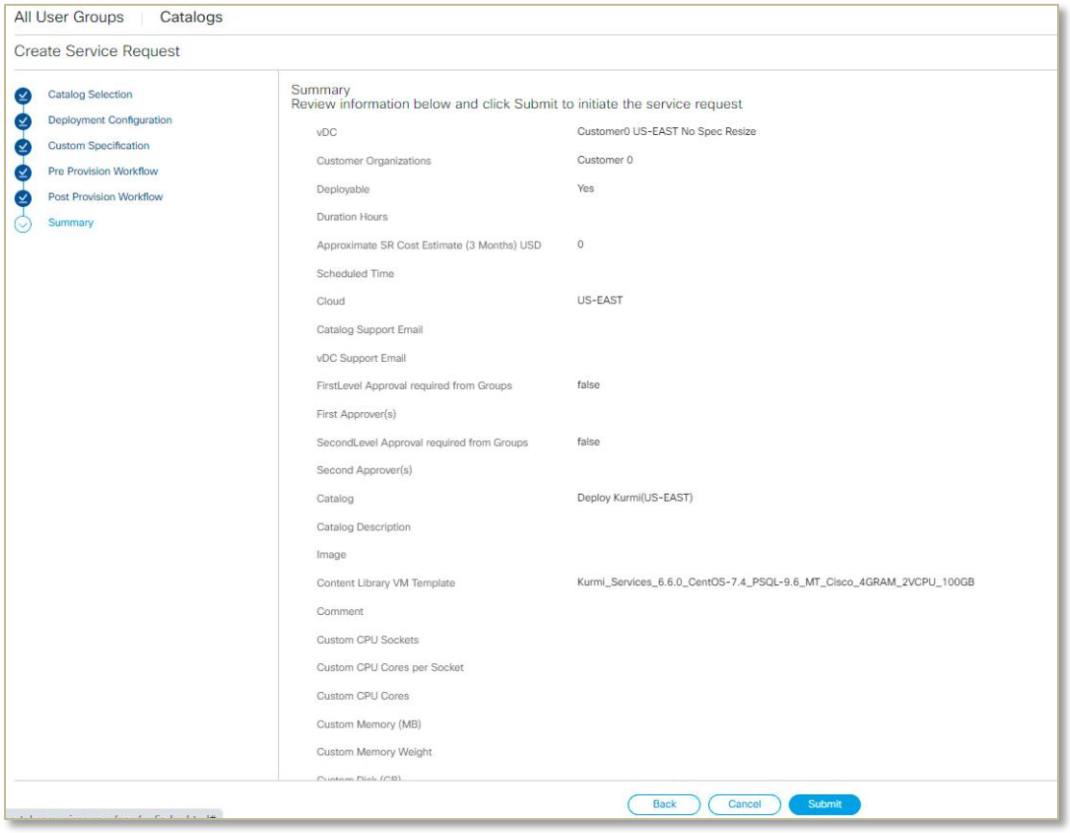
5. [*ポートグループ名*] の隣の [選択] をクリックし、ポートグループを選択します。通常、顧客ごとに 1 つのポートグループしか使用できません。



6. プロビジョニング前のワークフローとプロビジョニング後のワークフローの画面で [次へ] をクリックします。

7. [概要] ページの設定を確認し、展開のために [送信] をクリックします。

© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All



8. [サービス] > [サービス要求] に移動し、実行中のジョブをダブルクリックします。

9. 問題なくサービスリクエストが完了していることを確認します。

ユーザーの管理方法

Cisco IaaS 環境では、パートナーはマネージド サービス プロバイダー (MSP) 組織としてオンボードされます。MSP 組織は、自分の組織と顧客組織のユーザーを含む、管理下にあるすべての顧客のリソースを管理します。同様に、customer group-admin には、独自のユーザーを管理する権限があります。

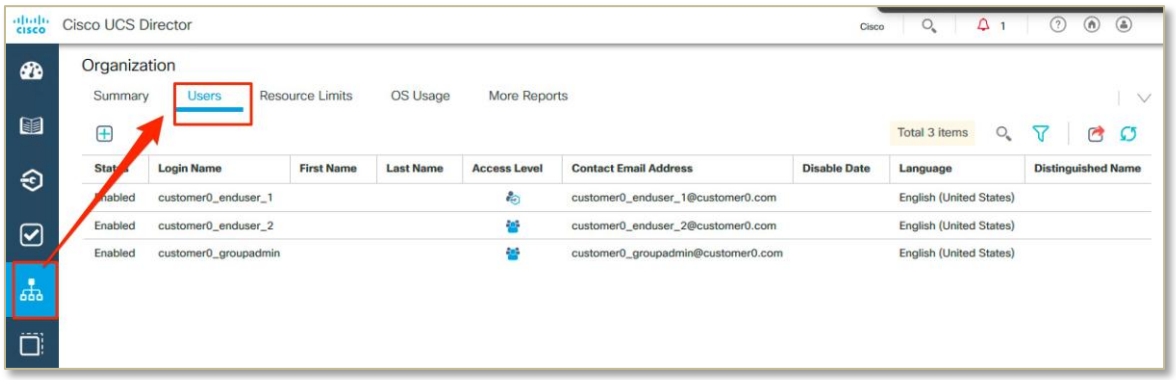
© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All

MSP 管理者としてログインしているパートナーのユーザー リストへのアクセス

1. パートナーは MSP 管理者としてログインします。
2. *[管理] > [ユーザーとグループ] > [ユーザー]* タブからユーザー リストにアクセスします。

顧客グループ管理者としてログインしている顧客のユーザー リストにアクセスする

1. 顧客は、グループ管理者としてログインします。
2. *[組織] > [ユーザー]* タブからユーザー リストにアクセスします。



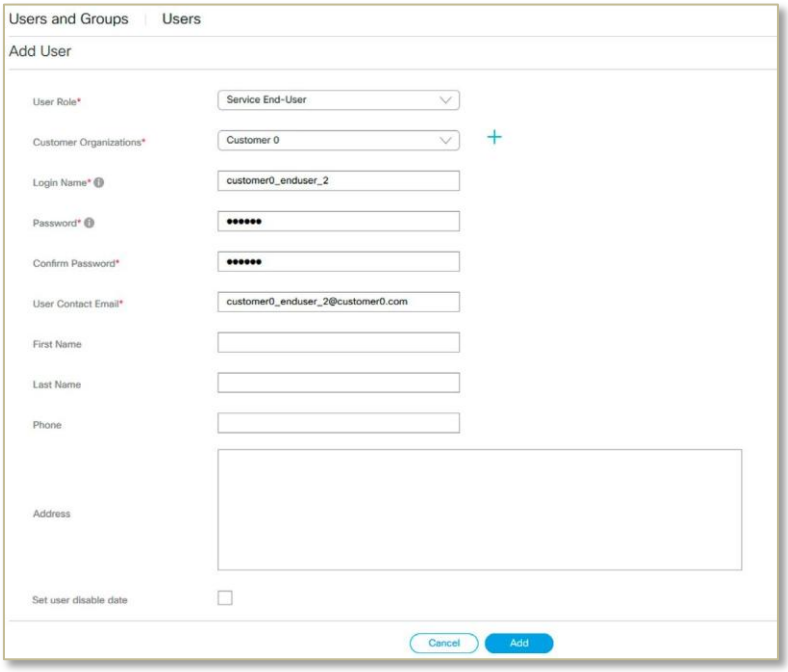
MSP 管理者としてログインしているパートナーの新しいユーザーを追加

1. *[管理] > [ユーザーとグループ] > [ユーザー]* タブから、 ⊞ をクリックして新規ユーザーを追加します。
2. 次の必須フィールドに入力します。

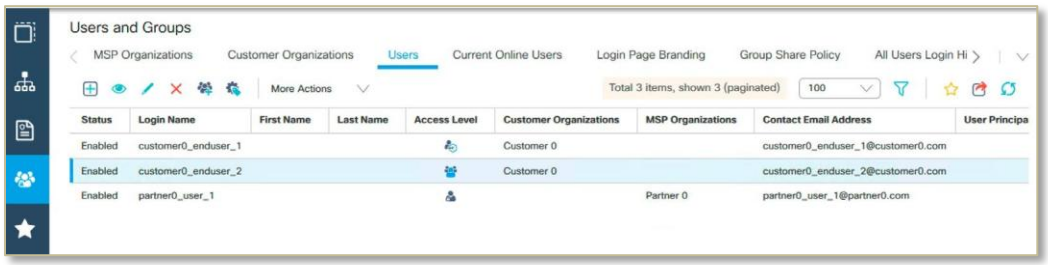
表 2. 新規ユーザー 入力フィールド

アイテム	説明
ユーザー ロール	• 以下のいずれかのオプションを選択します。 ○ **サービスエンドユーザー**: 新しい仮想マシンを展開し、既存の仮想マシンを管理できるエンドユーザー ○ **グループ管理者:**グループ管理者は、顧客組織に属するユーザーで MACD 操作を実行できます ○ **MSP 管理者**: MSP 管理者は、MSP 組織の管理下ですべての顧客リソースを管理できます。
MSP 組織	• [ユーザーの役割] フィールドで [*MSP 管理者*] が選択されている場合にのみ表示されます。
顧客組織	• [ユーザーロール] フィールドで [*Group-Admin*] または [*Service End-User*] が選択されている場合にのみ表示されます。
ログイン名	• ユーザーのログイン名
パスワード	• ユーザーパスワード
パスワードを確認してください。	• ユーザーパスワードを確認
ディスク	• ディスク サイズを定義するユーザ。入力番号は、顧客層で定義されたポリシーに基づいています。情報アイコンの上にカーソルを合わせて、有効な入力値を確認してください。

© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All



3. [追加] をクリックして、ユーザーが正常に追加されたことを確認します。



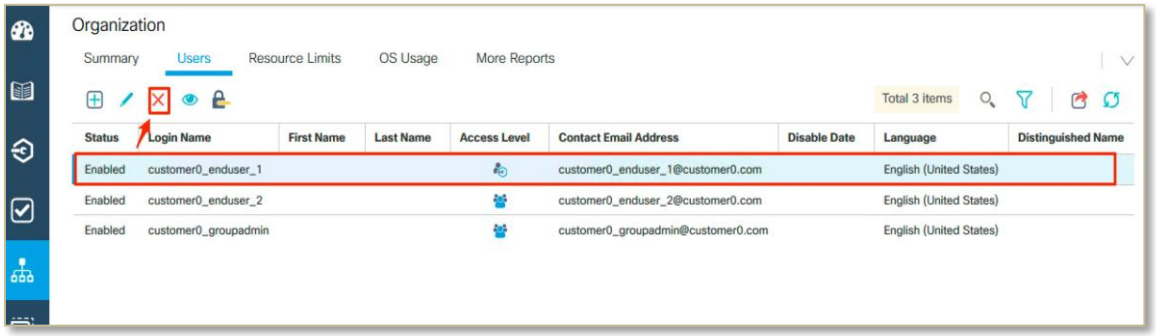
グループ管理者としてログインした顧客の新規ユーザーを追加する

1. *[組織] > [ユーザー]* タブから、⊞をクリックして新規ユーザーを追加します。
2. 「MSP 管理者としてログインしたパートナーに新しいユーザーを追加する」セクションの手順 2-3 に従います。唯一の違いは、顧客グループ管理者が、グループ管理者またはサービス エンド ユーザーのいずれかを選択できることです。

ユーザーを削除

1. 顧客グループ管理者の場合、*[組織 > ユーザー]* タブから、❌をクリックして新規ユーザーを追加します。パートナー MSP 管理者の場合、*[管理] > [ユーザーとグループ] > [ユーザー]* タブから、❌をクリックして新しいユーザーを追加します。

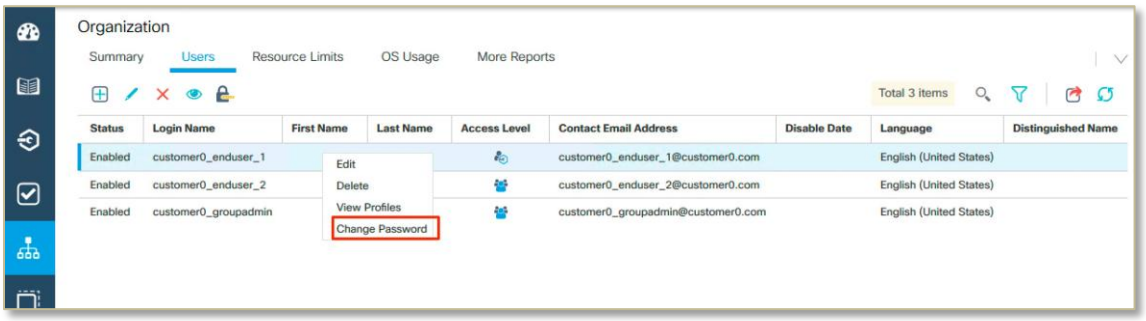
© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All



ユーザーのパスワードを変更する

1. 顧客グループ管理者の場合、[*組織* > *ユーザー*] タブから、目的のユーザーを右クリックし、[*パスワードの変更*] を選択します。

   パートナー MSP 管理者の場合、*[管理]* > *[ユーザーとグループ]* > *[ユーザー]* タブから、目的のユーザーを右クリックし、*[パスワードの変更]* を選択します。



1. グループ管理者または MSP 管理者のユーザーのパスワードを [パスワードを入力] に入力し、次の 2 つのフィールドに新しいパスワードを入力します。

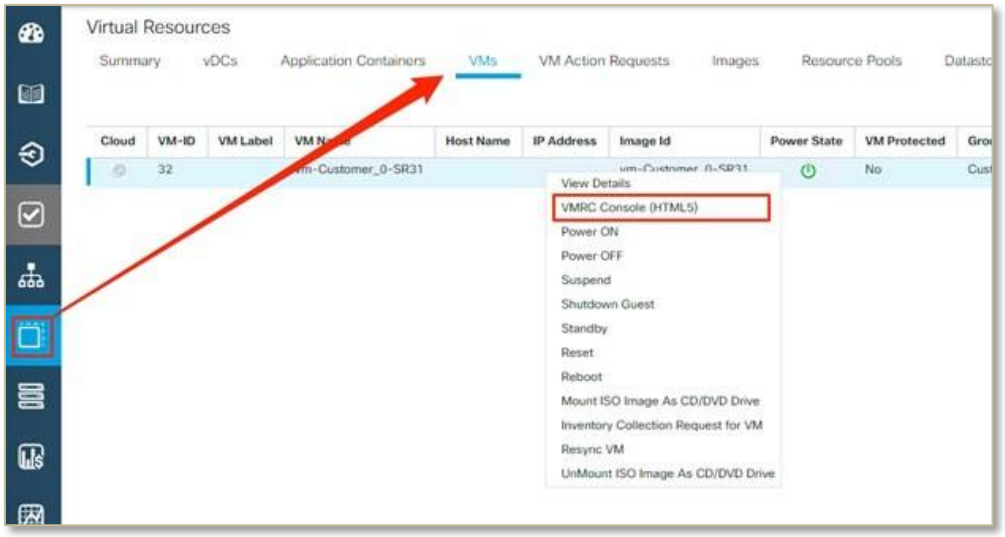
© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All

仮想マシンの管理方法

以下は、パートナーが仮想マシンを管理する方法です。ユーザーは [仮想リソース(サイドバー)] > [VM(タブ)] にアクセスし、希望の VM を右クリックするだけで、すべての管理下仮想マシンでアクションを実行できます。

サービスエンドユーザーとして、次のタスクは エンタイトルメントされます。

- 仮想マシンの電源オン/オフ
- VMware Remote Access（VMRC）コンソールへのアクセス
- 仮想マシンを停止
- 仮想マシンのシャットダウン
- 推測 OS のリブート/リセット
- IOS イメージを CD/DVD ドライブとしてマウント/アンマウント



IaaS アプリケーション サービス カタログ

表 3。 サポート対象アプリケーション カタログ

製品/ベンダー	vCPU	メモリー(GB)	ストレージ (GB)	コメント
UCCX 100 エージェント	2	10	146	ストレージは 1x146GB です
UCCX 400 エージェント	4	20	292	ストレージは 2x146GB です
Finesse® 250 シリーズ	2	8	146	
Finesse 2000 の	4	16	146	メモリは v12.5(x) の場合は 8GB です

© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All

製品/ベンダー	vCPU	メモリー(GB)	ストレージ (GB)	コメント
Finesse 2000 （Fast Failover）	8	16	146	メモリは v12.5(x) の場合は 8GB です
UCCE PG スモール	2	6	80	ストレージは 1x80GB です
UCCE PG メディア	2	6	80	ストレージは 1x80GB です
UCCE PG 大規模	4	6	80	ストレージは 1x80GB です

© 2023 Cisco および/またはその関連会社。All